

町政のここが聞きたい

いっぱん質問

第4回定例会で5名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。
質問と答弁を要約して紹介いたします。



乾 和夫 議員

本町の少子化対策と子育て支援策について

質問 少子化対策・子育て支援にどのような施策がとられているか、施策ごとの対象者の数と補助額を尋ねる。

答弁 町長
平成十七年度から妊婦健診の旅費を補助しています。平成二十年度からは出産時の旅費まで補助を拡大いたしました。平成二十三年度からは、喜界徳洲会病院の産婦人科医の旅費を補助しています。

答弁 保健福祉課長
子育てに関する講演会を二回、不妊に関する講演会及び相談会を一回、保健師の思春期保健相談セミナーの参加、妊娠・出産・育児・不妊に関するパンフレット作成を三月までに計画しています。また、県と協調して、中高生を含めた結婚前の段階から、結婚・妊娠・出産・育児を応援する機運の醸成や、県・市町村・地域活動団体等で設立する「かごしま結婚支援連絡協議

会」への加入、「かごしま縁結びフォーラム」開催に伴う参加者募集など、県全体で結婚支援活動に取り組んでいます。

本町独自の子育て支援施策の実績については、平成二十五年実績

- 妊婦健診旅費助成事業 四十五人、百六回、十一万四千九百二十円
- 出産時旅費宿泊費 五十四人、二百六十六万五千六百九十九円
- 不妊治療旅費助成事業 三組、四十万二千八十円
- 未熟児養育医療助成事業 六人、九十万五千六百二十円
- 産婦人科医師旅費助成金 二百万円
- 子育て支援センター事業 子三千三百十八人、保護者二千三百六十二人、三百五十六万円

平成二十五年からは、放課後児童クラブを喜界小学校区・早町小学校区に立ち上げ、主に日中保護者が家庭にいない小学生児童に対して、適切な遊び及び生活の場を提供しています。

質問 児童生徒の給食費全額助成は考えられないか。

答弁 教育長
給食費を全額補助した場合、年間約二千四百万円の財政負担を伴うため、給食費の無償

化は大変厳しい。

質問 修学旅行費用の負担や遠征費用の軽減措置は考えられないか。

答弁 教育長
修学旅行費用については、

国の補助基準額一人当たり、小学校一万七千七百円、中学校三万九千三百円を支給しており、個人負担額は一人当たり、小学校で五千六百九十円、中学校で一万二千六百五十円となっています。

質問 施設使用料の減免は考えられないか。

答弁 教育長
スポーツ少年団活動、単位子ども会活動、教育活動の一環で利用する場合の使用料は、町が管理している体育施設は全額免除となっています。中・高校生の部活動については、ほぼ毎日利用しているので維持管理費がかかること、また、管内市町村の対応を参考に半額減免としています。



給食センター

質問 施設の拡充は期待できるか（専用野球場の新設や総合グラウンド整備について）。

答弁 教育長
大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会は各市町村持ち回りで開催されており、本町が出場している全ての競技が本町体育施設と同じような会場で行われているのが現状です。また、中学校の部活動より充実した施設を整備することは現在のところ財政的に困難です。

専用野球場の新設については、学校跡地利用検討委員会の利用計画で利用推進がされているが、具体的な事業計画は現在できていない。また、総合グラウンドの新設は現時点では考えていません。

質問 喜界小学校の体育館新

設など今後の計画についてと給食センター跡地利用の計画を伺う。

答弁 教育長
喜界小学校の施設整備については、老朽化した体育館と水泳プールの建替を計画している。両施設を立て替えるには、現在の喜界小学校の敷地では狭いのが現状です。給食センター跡地については、このような実情から建替の候補地として現在検討している。



生駒 弘 議員

町民生活の安心・安全について

質問 避難準備情報発令の基準は。

答弁 町長
避難準備情報は、要配慮者等避難時に時間を要する方が、避難行動を開始しなければならぬ段階で、人的被害が発生する可能性が高まった時に発令します。



胃がん検診

質問 がん検診の受診率向上への取り組みは。

答弁 保健福祉課長
健診には、時間的拘束や身体的負担もあるが、ひとたびがんにかかれば、それ以上に時間と精神的、体力的、金銭的負担を要する事になる。健康な時こそ受診し、早期発見・早期治療につなげるのが「健診」であるので、繰り返し受診の呼びかけを行う。

適する様に整備するべきではないか。

答弁 町長
各災害において避難所が適しているか検討するとともに、大規模災害における長期・多人数の避難に対応できる避難所についても、整備・改修等を検討します。

質問 男女共同参画基本計画の策定は。

答弁 町長
男女共同参画基本計画の策定については男女の性別に関係なく人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる社会作りのため、本町の伝統・文化・慣習・住民意識等を踏まえ、集落活動における男女共同参画の推進や農家女性の経営参画促進等、喜界町独自の内容を盛り込んだ計画を策定したい。

質問 義務教育における給食費の無料化はできないか。

答弁 教育長
食育については、生きる上での基本であり、知育・徳育・体育の基礎となる重要な分野であると認識し、学校でも力を入れて取り組んでいる。教育委員会として現時点では、児童生徒が義務教育を受けるにあたり、経済的な理由により支障が生じる事がないよう就学援助費等必要な援助を行う。

質問 人口減少対策、若者の定住促進、それから少子化対策、子育て支援の立場から、給食費の無償化について。

答弁 町長
人口減対策については、さきに成立した地方創生関連二



峰山 恵喜光 議員

ふるさと納税について

質問 全国及び県内のふるさと納税の現状はどうなっているか。

答弁 町長
全国及び県内の状況は一年間に全国で十万六千四百四十六人の方が百三十億一千百二十七万円。県内においては三千六百六十六人の方が二億三千八百六十五万円の寄付をしています。寄付者に対してのお礼として特産品など詰め合わせを送付する手法が全国的に

も話題になっており、地場産品等のPRなども併せて行えることで県内の自治体において約六七割の市町村が特産品を送付しているのが現状です。

質問 喜界町ではふるさと納税を行政にどのように位置づけているか。

答弁 総務課長
この制度は「生まれ育ったふるさとのために何かできないか、何か役に立ちたい」という思いの受け皿となるという意味で素晴らしい制度であると考えられている。

寄付金を有効かつ特色ある施策に生かせれば町にとっても大変メリットがあり、継続しての寄付や新規の寄付にも繋がると考えています。お礼の品等を工夫することで町特産品等のPRに繋がる側面もあると考えます。

質問 喜界町のふるさと納税の現状はどうなっているか。

答弁 総務課長
平成二十五年度は十六名の方に百七十万円の寄付をいただいており、平成二十年からの六年間で累計七十名の方に一千百九十七万円の寄付をいただきました。寄付金はふるさと寄付基金へ積み立てており現在、一千三百十四万円となっています。納税者の方へ

は、お礼の気持ちを表すため全員にお礼状を送付するとともに希望者には広報「きかい」を送付しています。

質問 これまでの取り組みについて、成果と課題はどうなっているか。

答弁 総務課長
当制度をホームページ上で案内し、また郷友会総会等のイベントの際にチラシを配布しています。その結果、毎年新規の方に寄付をいただき、昨年は前年と比べ七人から十六人へと増えました。課題としては更に納税者を増やすため、寄付金払込み方法を、現在の現金及び郵便振替以外の方法やお礼の品を送付するなどの検討が必要です。また基金を具体的にどのような施策に生かしていくかが検討課題です。なるべく納税者の方たちの意向を大切にし、ふるさと納税ならではの施策に生かせたらと考えています。

質問 今後の展望はどのように考えているか。

答弁 総務課長
来年度からお礼の品として特産品等の詰め合わせを送る手法を検討しています。感謝の気持ちを表すとともに、本町の魅力ある特産品を再認識していただいたり、懐かしい味に思いを馳せていただいた

り、あるいは喜界町へ興味を持っていただくきっかけになればと考えています。ただし、マスコミ報道等であるように、特典の豪華さやお得感を競ったり、ギフトカタログのような特典品カタログを作成して選択させるような手法とは一線を画していくつもりです。ふるさと納税の本旨に則り、寄付者の皆さんの応援してくださる気持ちを大切にし、島の魅力を伝えていく所存です。



外内 千里 議員

地震対策について

質問 県が「津波浸水予想図」を公表しているが見解を尋ねる。

質問 これまでの取り組みと成果と課題について。

質問 今後の展望について。

答弁 町長
県が作成した「津波浸水予想図」は、南海トラフや奄美群島太平洋沖（北部・南部）桜島沖地震等で発生した場合について被害を想定している。

本町は、奄美群島太平洋北部沖地震の想定において、最大震度七の想定と津波到達時間は四分後に一メートルの津波が到達、二十二分後には最大津波は五・三六メートルで、浸水面積が七百二十haと甚大な被害予想が出されており、率直に浸水予想が広大であり、津波の到達時間も極めて短時間であることから、町民の防災意識の高揚を図らなければならない。

浸水が危惧される地域の現状と、今後の対策について

質問 「喜界町防災計画」で予想される想定被害の概要によると、津波による死者が百六十名、負傷者四百十名、要救助者四十名、避難者三千名と甚大な被害が予想されているが、被害を少なくする手立てについて、今後どのような対策を執られるのか。

答弁 総務課長
県が作成した津波浸水想定図を、本町の防災マップにおいて建物や道路等の確認作業を行っている。今後の対策として、自主防災組織の図上訓練や避難経路の確認、要配慮者名簿の確認、地域の防災ハザードマップ作成等についてスピードを上げて、全集落で実施したい。本町に現在四名

の自主防災リーダーがおり、各地区のリーダー育成の強化を図っていききたい。県は津波浸水想定と同時に三つの基本目標を定めている。「命を守る（人的被害の抑止）」「くらしを守る（生活の確保）」「地域を守る（経済被害等の軽減）」

質問 学校の津波対策について、本町の現状はどの様になっているのか。

答弁 教育長
各幼稚園、小学校、中学校は毎年避難訓練実施計画を立て、喜界幹部派出所、喜界消防分署の指導のもと実施している。地震発生時のとっさの行動、避難時の誘導・整列点検・安全な行動、避難場所までの所要時間、問題点等を記録して、毎年改善を行っている。避難場所はそれぞれ所在地より高い場所を設定しており、日常の園・学校生活の中で、地震の発生時には、「高い場所へ急いで逃げること」を徹底し、自分の命を自分で守る意識付けや危険予知能力の育成を行っている。

学校教育について

質問 喜界小学校の「土曜日

授業」の成果と今後の方向性について。

答弁 教育長
文部科学省の「土曜授業推進事業」の指定を受け、原則月一回、第二土曜日の午前中に三時間程度の授業を実施するもので、喜界小学校は五月から二月まで九回計画しております。現在六回実施しています。児童は「校外でのトマト狩りにゆつくりと時間をかけて行けたので楽しかった」。保護者は「ランニング大会等の行事を土曜日に行ってほしい」、「習熟を図る授業を行ってほしい」。教職員は「土曜授業で校外での体験授業を行い、平日の教科指導にじっくり取り組むことができる」、「習熟の時間を確保し、繰り返し問題を解くことで、基礎基本の定着を図る」等の好意的意見が多かった。県教育委員会も積極的に推進しており、教育実践の成果を参考に関係者の声を聞いて教育を充実させる方向で推進します。

質問 中高一貫教育への財政支援と人材育成強化すべく喜界高校への財政支援は検討できないか。

答弁 教育長
中高一貫教育への財政支援は、年度により補助金の額が二十万、三十万と変わっているが、事業内容等に合わせ、

はないか。

答弁 教育長
各家庭に配布している行事カレンダーに喜界高校の行事等も書き入れて、町民にも周知し、より多くの町民の関心参加等を促していきたいと考えています。

質問 ④ 中高一貫教育支援金の増額は考えられないか。

答弁 教育長
事業内容等に合わせて、学校が使いやすいように弾力的に対応し、財政支援についても、来年度の予算編成を通して検討します。

質問 ①～④までを合わせて実行することにより喜界高校卒業時点で、より高い次元での進路実現の一助になると思うが。

答弁 教育長
より高い次元での進路実現は、高校生本人、家族、幼小中高校の教職員、町民の皆様の望むところである。教育委員会としても、教育環境の充実や幼小中高の連携による教育活動の充実には力を入れていくところですので、皆さんと力を合わせて取り組んでいきたい。

学校が使いやすいように弾力的に対応することも検討する。喜界高校への財政支援は来年度の予算編成を通し検討する。

受動喫煙防止対策について

質問 庁舎での喫煙施設を整備すべきではないか。

答弁 町長
現在、役場庁舎内は完全禁煙とし、喫煙は屋外に喫煙場所を設けている。庁舎での喫煙施設整備については多額の費用と設置場所の問題もあり、近隣市町村、官公庁の動向を踏まえ今後検討していく。

交通安全対策について

質問 道路の停止車線等が消えかかっている、消えている箇所が見受けられるが、対策を講じるべきではないか。

答弁 建設課長
九月に町道百七十号線（湾港・池治線）を実施しています。幹線道路だけでも百六路線、百三十六kmあり平成二十七年以降も計画を立て、町道、農道の交通安全対策を図っていく。停止線等については所管する関係機関に要望する。

質問 見通しの悪い道路の雑



上間 一寛 議員

空き家等の保全について

質問 本町には空き家等は何戸あるか。

答弁 町長
今年度喜界消防分署が調査

したところ、非住家の空き家が五百六十三戸、廃屋の空き家百二十三戸、合計で六百八十六戸の空き家があると確認しています。

質問 増加傾向にある空き家等に対する住民の意識向上が必要ではないか。

答弁 町長
空き家や空き地の適正管理は、所有者の責務であると考えています。老朽化した空き家が、台風等により危険な状態となつている箇所が見受けられることから、住民の管理意識の向上は必要であると考えています。

質問 空き家等の適正管理に関する条例の制定は考えられないか。

答弁 町長
空き家等対策推進に関する



空き家

答弁 教育長
中学校、高等学校における学力向上を図る必要があると考えています。その上で、学力検査実施についても県教育委員会と話し合いを進めていきたいと考えています。

質問 喜界高校の行事等も町の教育機関に組み入れることにより、小中高の連携がスムーズに図られ、町民の教育に関する地域力が高まるので

諸般の報告



議長 中島 智一

◆十月三十日に離島町村議会議長行政調査がありました。長崎県壱岐市の概況、それから合併問題等について調査をいたしました。国内外の交流が盛んなまちづくりの促進政策について、郷ノ浦町、勝本町、芦辺町、石田町四町が合併し壱岐市となる。農産物の算出額四十九億円、自給率は米、野菜十分に足りているとのこと。

◆十一月六日、鹿児島市民文化ホールにおいて市町村政研修会が開催され、「どうなる消費増税後の日本経済アベノミクスの成功の条件等について」第一生命経済研究所主席エコノミストの永濱利廣氏の講演、「周近平政権の内政と外交について」、筑波大学名誉教授理学博士遠藤誉氏の講演があり、国政や近隣諸国間の実情について講演がありました。

◆十一月十一日、東京ホテルフロラシオン青山において、十六都道府県から各市町村の議長、副議長、局長の計百九十二名、来賓に国土交通省、自民党、民主党、公明党等の代表が参加され、第三十三回離島振興市町村議会議長全国大会が開催されました。離島航路・航空路支援法の早期制定を求める特別決議及び特定国境離島保全振興特別措置法の早期制定を求める特別決議及び十四点の要望を採択した。

◆琉球大学及び鹿児島大学と奄美広域事務組合との包括的連携協定が結ばれました。この協定は、奄美群島広域事務組合と鹿児島大学及び琉球大学が相互連携のもと奄美群島におけるさまざまな課題に適切に対応することにも、産業活動の基礎となる自然、社会、文化に関する教育研究の遂行により、奄美群島成長戦略ビジョンで掲げた奄美群島の将来像を実現し、奄美群島の自立型経済の構築と活力ある地域社会の形成発展に寄与することを目的とするものです。連携分野としては、新しい産業の創出、既存産業の振興、人材の育成ほか地域防災対策等です。

人事

○教育委員会委員の任命
教育委員会委員
積山 泰夫氏

任期は、平成27年1月2日から
平成31年1月1日

表彰おめでとうございます

青山 春男 副議長
議員在職三十年表彰を受ける



この度の議員在職三十年表彰におきましては、浅学非才の私を三十年の永きにわたり、ご支援ご支持を賜りました町民の皆様衷心より感謝とお礼を申し上げます。
今後とも町政発展及び町民の福祉向上、住みよい町づくりに微力ながら頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

陳情の審査結果

提出者	件名	所管委員会	審査結果
東大阪市 軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本 久美子	軽度外傷性脳損傷に関わる周知及び労災認定基準の改正などを要請する	産業福祉	採 択
鹿児島市 一般社団法人鹿児島県聴覚障害協会 会長 寿福 三男	「手話言語法」制定を求める意見書	産業福祉	採 択
鹿児島市 全国B型肝炎九州訴訟鹿児島県原告団 代表 宮崎 一博	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	産業福祉	採 択
鹿児島市 あまみ農業協同組合 代表理事組合長 上岡 重満	「JA自己改革」に関する意見書	産業福祉	採 択
鹿児島市 反原発・かごしまネット 代表 向原 祥隆	「川内原発1・2号機の再稼働に当たって250km圏内に入る県内全体の同意を得る意見書」の採択を求める陳情書	総務文教	審議未了

採択された陳情は、意見書として関係省庁に提出し、その実現を要請しました。

意見書の審査結果

提出者	件名	審査結果
生 駒 弘	「女性が輝く社会」の実現に関する意見書	採 択
生 駒 弘	地域の中小企業振興策を求める意見書	採 択

公益に関わる意見書案が議員から提出され審議の結果、全会一致で可決され、関係行政庁に提出し、その実現を要請しました。

次回定例会

次の議会は、3月上旬を予定しています。

午前 9:30
皆様の傍聴をお待ちしています。

●お問い合わせ先 TEL65-1115

議会のうごき (12月～2月)

12月5日 議会運営委員会
12月9日 第4回喜界町議会定例会開会（一般質問）
12月10日 常任委員会（一般会計補正予算等審査）
12月17日 第4回喜界町議会定例会閉会
1月2日 成人式（全議員）
1月6日 消防出初式（全議員）
1月20日 正副議長研修会（奄美市）議長・副議長
1月27日 奄美・やんばる交流推進協議会総会（国頭村）議長
1月28日 第4回理事会（鹿児島市）議長
1月29日 議員研修会（鹿児島市）議員全員
2月17日 県議長会定期総会（鹿児島市）議長
2月26日 各種協議会（奄美市）議長

ボランティア活動

11月8日役場の花壇にスカシユリの植え付けを行いました。

